

## ローダソフトについて

### ○動作環境について

日本語版オペレーティングシステム

w i n d o w s X P

コンピュータ本体

P e n t i u m CPUを搭載したパーソナルコンピュータ

(P e n t i u m 300MHz以上推奨)

### ○接続について

専用のローダケーブルを使用して下さい。

### ○インストールについて

インストールする時は、Release\_20090806A.zip を解凍後、解凍されたフォルダ内の  
Setup.exe を直接実行して下さい。インストールが始まります。

ローダソフトの他に、ローダケーブル用ドライバプログラムが必要です。

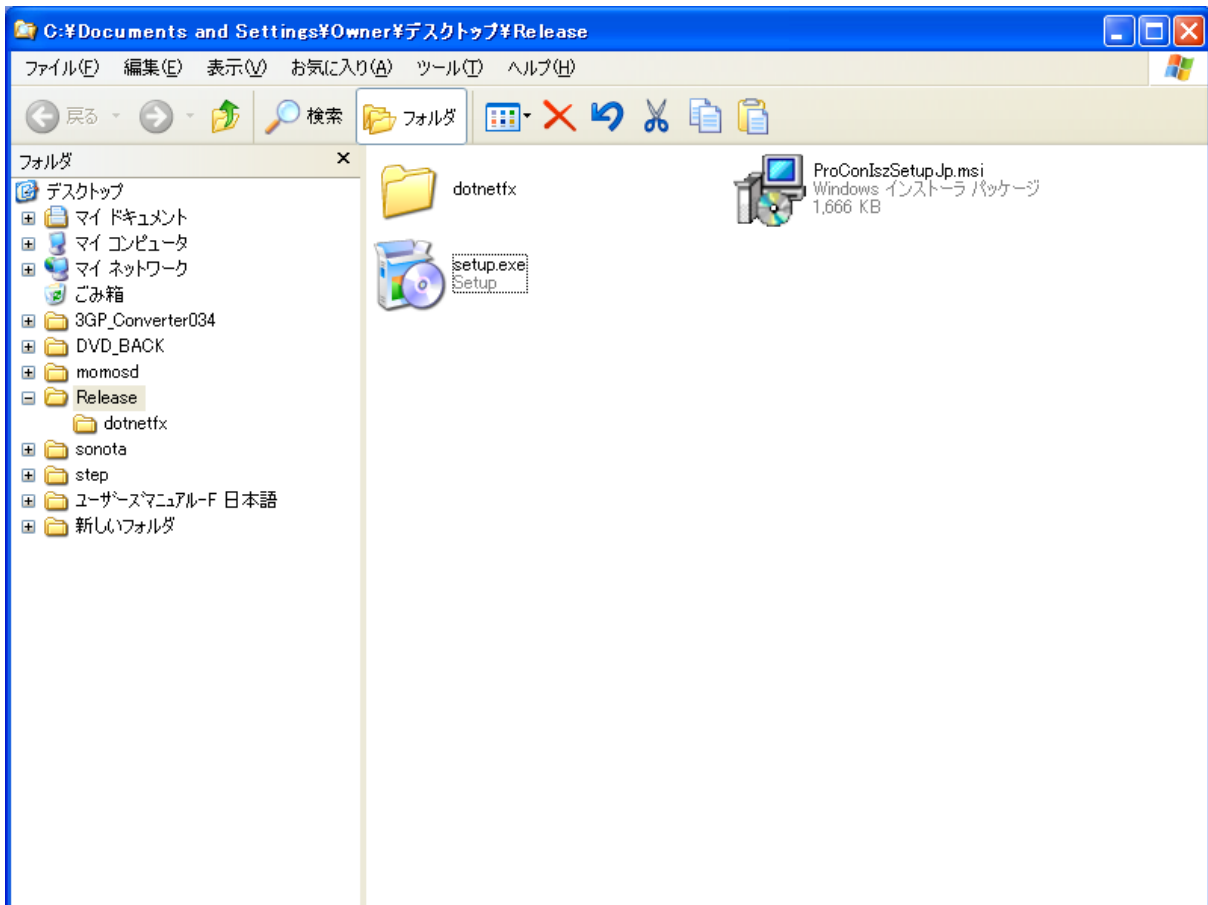
詳細はホームページ上のローダケーブルのインストール手順を参照して下さい。

ローダーケーブルドライバのインストールが出来ない場合は弊社までお問い合わせ下さい。

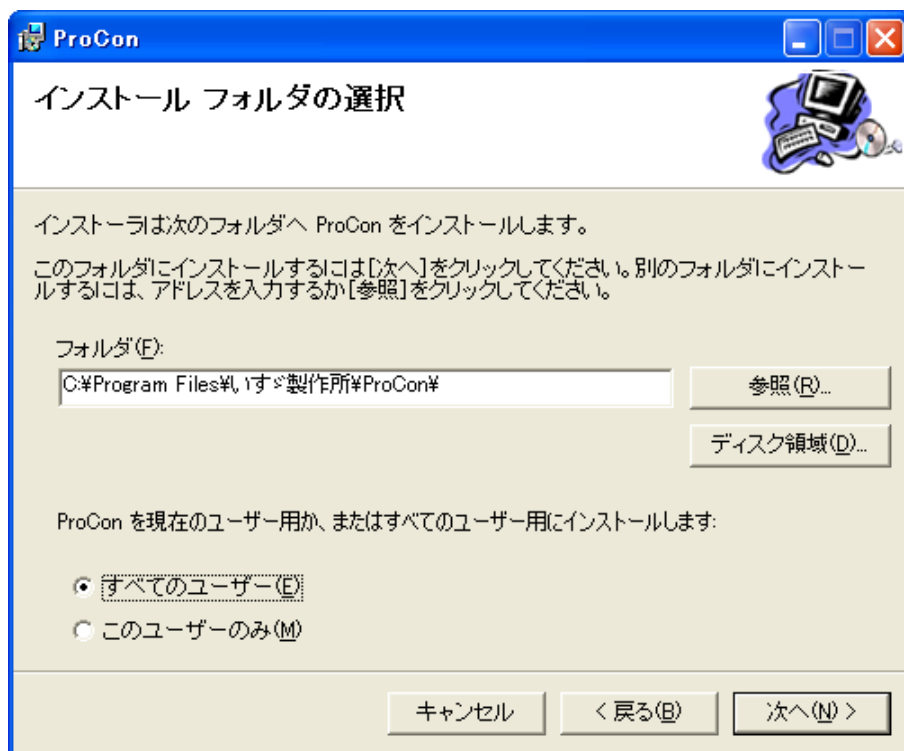
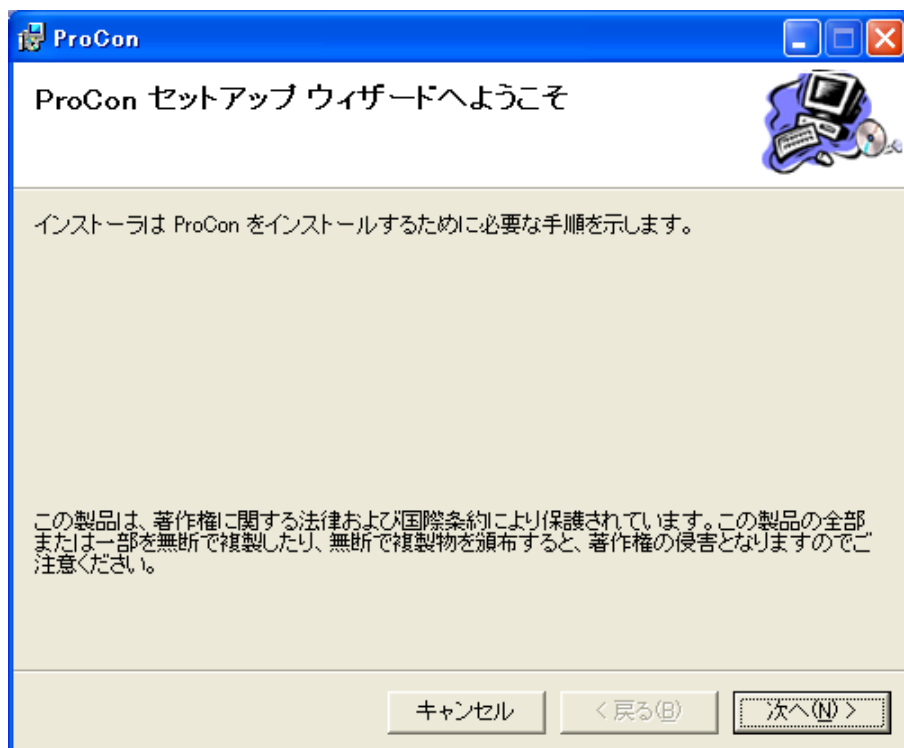
## ○ローダソフトのインストール、起動、終了について

### 1. インストール

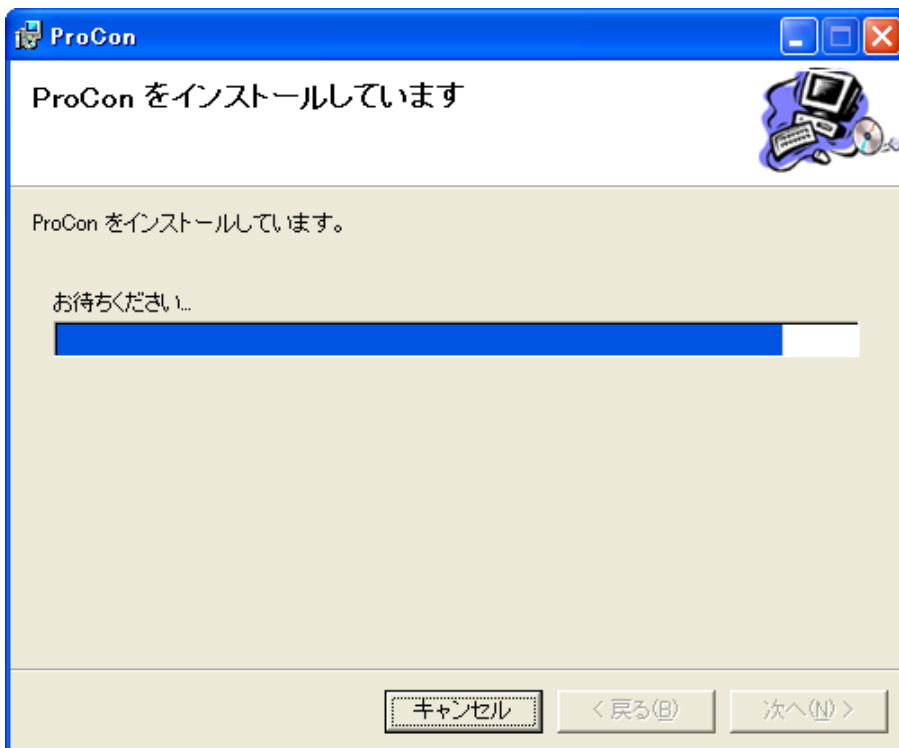
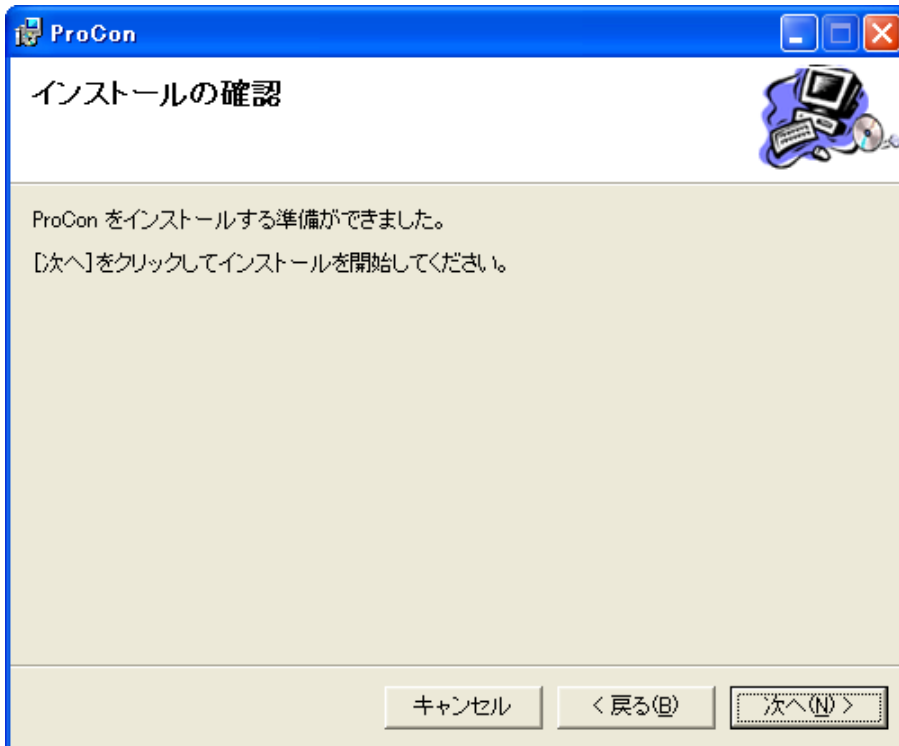
インストールする時は、Release\_20090806A.zip を解凍後、解凍されたフォルダ内の Setup.exe を直接実行してください。



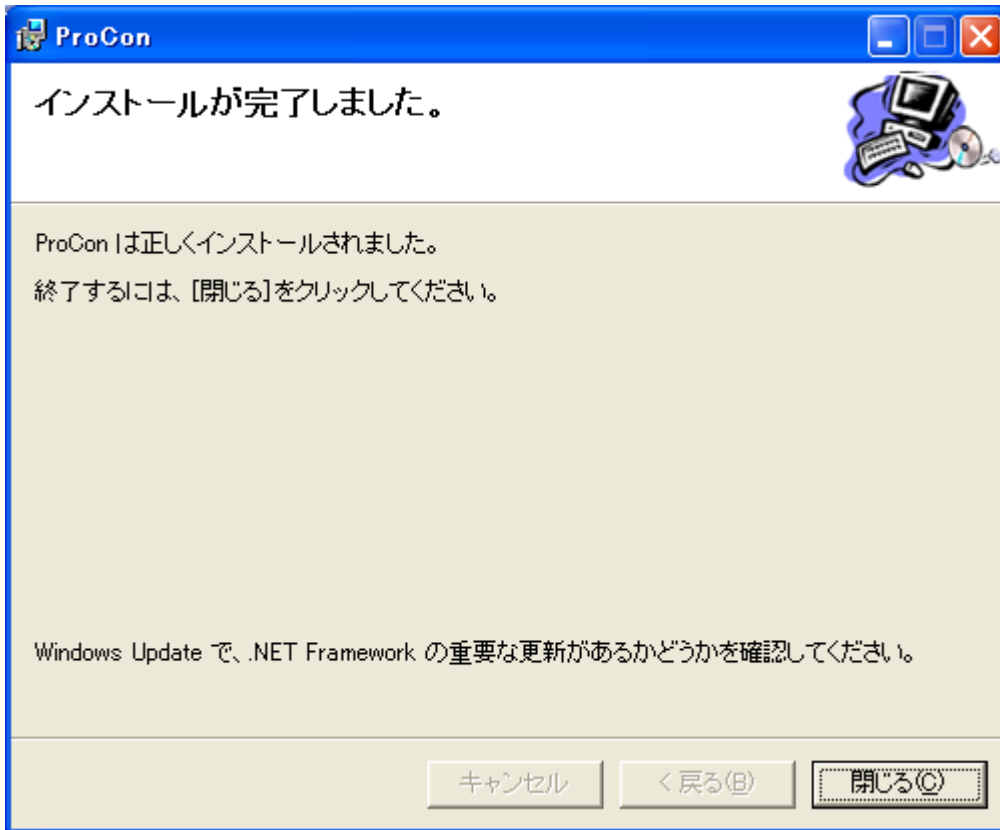
①～③まで順に画面が表示されますが、すべて「次へ」を選んで下さい。



ここでは「すべてのユーザー」か「このユーザーのみ」を選択してください。



インストールが完了すると下記画面が表示されるので、「閉じる」を選んで下さい。



※上記画面の注意書きもありますように「.NET Framework」を最新にしてください。

## 2. 起動

ローダソフトを起動するにはスタート→すべてのプログラム→いすゞ製作所→ProCon β版  
を  
選んで下さい。

下記の画面が表示され立ち上がらない場合ローダケーブルを差し忘れていないか、認識して  
いません。  
接続を確認して下さい。

### 3. 終了

ローダソフトを終了させるときは、ウインドウ右上の×ボタンを押して下さい。

※注意 クリップ機能が正常に働かない場合や、「実行時エラー ‘4 8 1’ ピクチャが不足です」

が発生する場合は、他の常住ソフトと競合している場合がありますので、常駐ソフトを、終了させてください。

## ○概要

ローダソフトは3つの機能（設定値変更、ロギング、トレンド）が有り、各機能について以下に概要の説明を示します。

- ・設定値変更は、パラメータを設定する為の機能です。
- ・ロギングは、測定値や制御量の表示や、データを記録する機能です。
- ・トレンドは、測定値や制御量を任意に選択して経時変化をグラフ表示する機能です。

起動直後は下記の画面が開きます。

しばらくすると次ページの画面へ移ります。



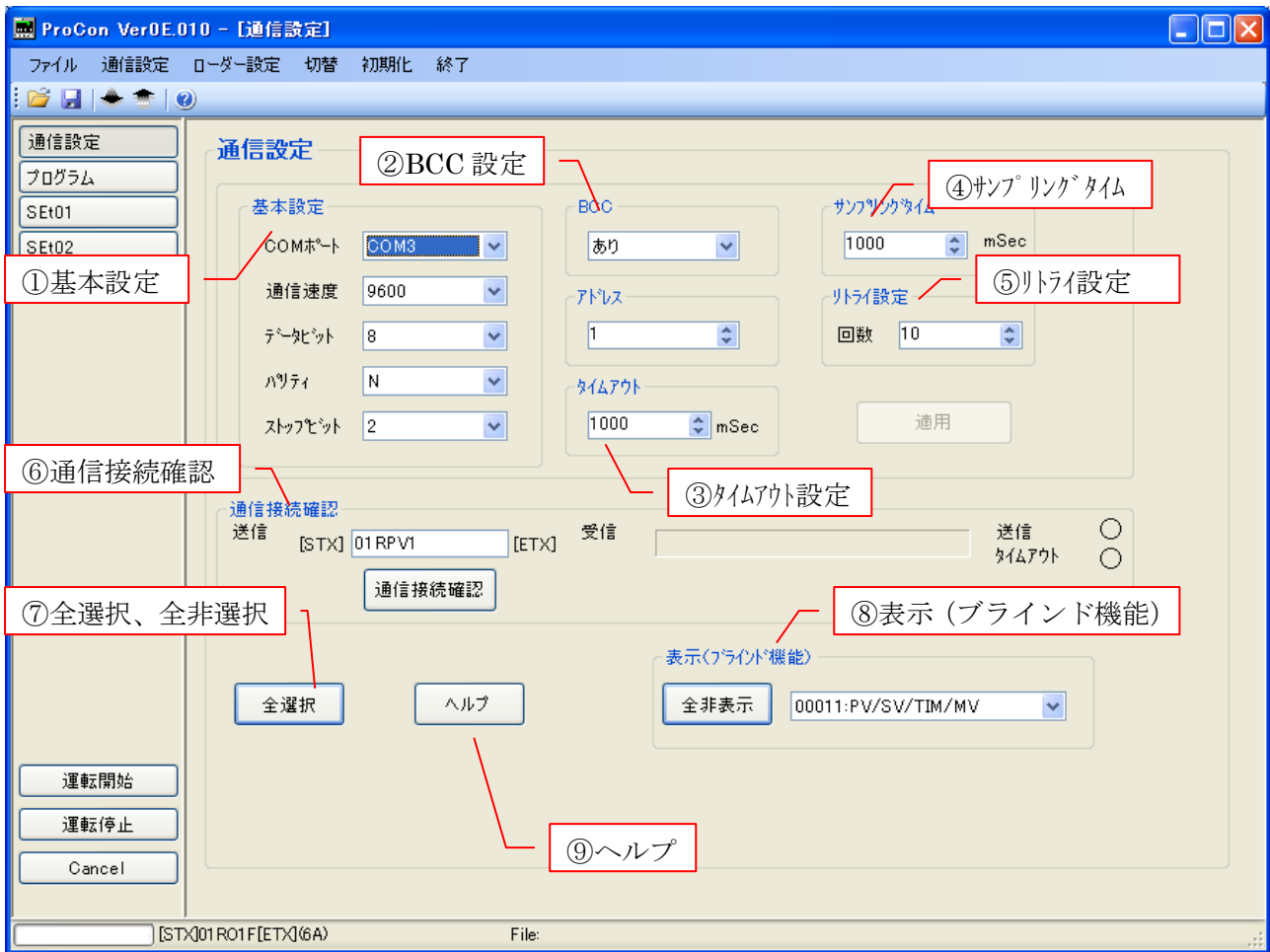
この画面でエラー表示があった場合はパソコンと製品の接続がされていない場合があります。

またはCOMポートの選択が正しくない状態ですので確認をよろしくお願いします。





## 1. 通信設定



### ①基本設定

温調計の通信設定に合わせて下さい。

※注意 温調計との通信は、TOHOプロトコルのみ対応しています。  
(MODBUS未対応)

### ②BCC設定

温調計の通信設定に合わせて下さい。

通信エラーチェックコード (BCC) を使用するか、しないかの設定です。  
有りの場合は、送る電文にBCCコードが自動的に付きます。

※注意 BCCを誤って設定した場合、通常より長い通信時間が掛かる場合があります  
ので、適切に設定して下さい。

### ③タイムアウト設定

通信のタイムアウト設定です。温調計からの応答待機時間を設定します。

### ④サンプリングタイム

連続運転のサンプリング時間（データ送受周期）です。

### ⑤リトライ設定

温調計から通信エラーが返答された時、リトライ設定の回数と間隔に応じて、電文の再送信回数と間隔で再送します。

設定回数以上エラーが返答された時はエラーとなります。タイムアウトもエラー1回とします。

### ⑥通信接続確認

設定した電文を送って、正しく通信接続されているか確認出来ます。

### ⑦全選択、全非選択ボタン

ボタンを押し、全選択→全非選択にすると、設定可能な全てのパラメータを一括して選択にします。

全非選択→全選択の場合は、一括して非選択になります。

### ⑧表示（ブラインド機能）

「全表示・全非表示」 ボタンを押し、全表示→全非表示にすると、設定可能な全てのパラメータを一括して非表示にします。

全非表示→全表示の場合は、一括して表示になります。

※注意 設定モードの表示（ブラインド機能）は、選択中（黄）のパラメータのみ有効となります。

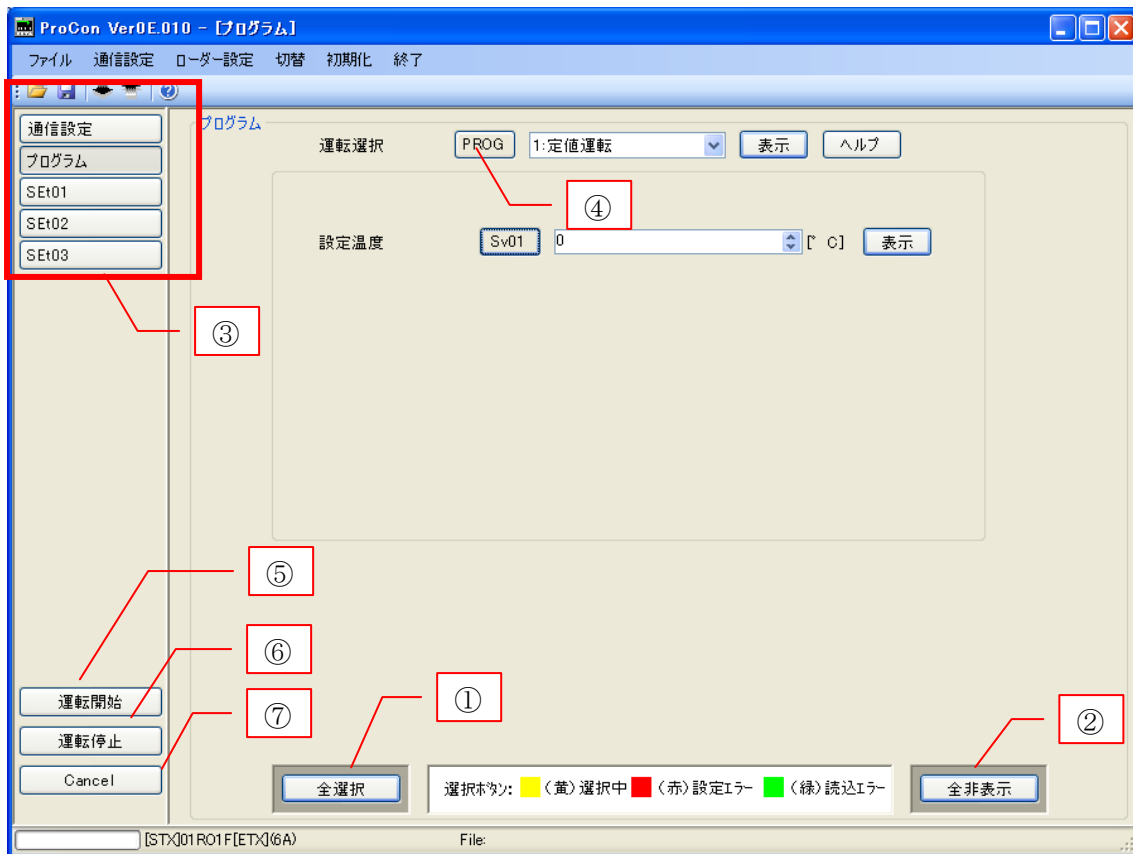
「PV/SV/TIM/MV表示選択」 PV、SV、TIM（残時間）、MV（操作量）の表示について表示、非表示を選択します。

PVとSVについては必ずどちらかは表示となります。

### ⑨ヘルプボタン

ヘルプ画面が開きます。

## 2. 型式設定



接続する温調計の型式を設定する画面です。

### ①全選択

表示画面内の設定選択ボタンを一括して全選択、全非選択にします。

### ②全表示／全非表示

表示画面内の表示（ブラインド）ボタンを一括して表示、非表示にします。

### ③ボタン群

各ボタンを押すと、それぞれのパラメータ設定画面に切り換わります。

### ④運転選択

プログラム画面選択時、運転種類を選択できます。

運転種類によって表示される画面が異なります。

### ⑤運転開始

このボタンを押すと運転開始の信号を製品に送信します。

⑥運転停止

このボタンを押すと運転停止の信号を製品に送信します。

⑦Cancel

読み取り、または書き込みを中断します。

### 3. 設定モード

① 選択ボタン

② 設定値

③ ヘルプ

④ アップ・ダウン

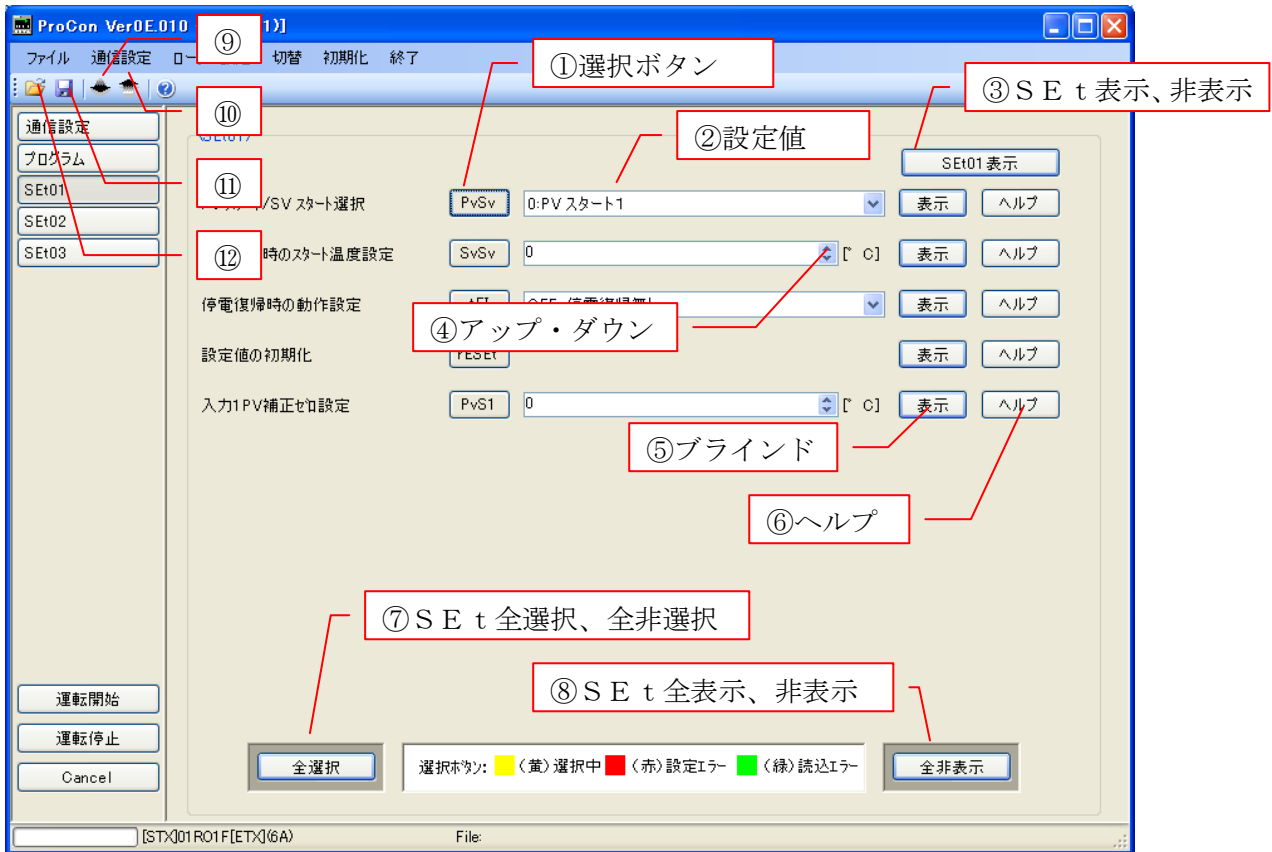
⑤ ブラインド

⑦ S E t 全選択、全非選択

⑧ S E t 全表示、非表示

ステップ	設定温度	設定時間(時:分)	タイムシフト機能1	タイムシフト機能2
Step02	0	00	0	0
Step03	0	00	0	0
Step04	0	00	0	0
Step05	0	00	0	0
Step06	0	00	0	0
Step07	0	00	0	0
Step08	0	00	0	0
Step09	0	00	0	0
Step10	0	00	0	0
Step11	0	00	0	0
Step12	0	00	0	0
Step13	0	00	0	0
Step14	0	00	0	0
Step15	0	00	0	0
Step16	0	00	0	0

選択ボタン: ■ (黄) 選択中 ■ (赤) 設定エラー ■ (緑) 読込エラー



### ① 選択ボタン

読み書きするパラメータは選択ボタンを押して、選択中（黄）にして下さい。  
 パラメータを温調計に書くときは⑨書込みボタンを押して下さい。  
 パラメータを温調計から読むときは⑩読み込みボタンを押して下さい。  
 パラメータの読み書きは全ての画面の、選択中（黄）のパラメータに対して行われます。  
 パラメータ選択中は黄色に変わります。  
 プログラム画面の設定温度、設定時間、タイムシグナル機能1、タイムシグナル機能2については  
 設定を変更するか各パラメータの項目で右クリックをすると選択中（黄）になります。

### ② 設定値

パラメータの設定値を入力する箇所です。

### ③ SEt 表示、非表示ボタン

ボタンを選択して、Set\_\_非表示で、⑨の書込みボタンを押すと、温調計のSEt画面が  
 ブラインドされ、表示されなくなります。

注) プログラム画面にはありません。

④アップ・ダウンボタン

設定値のアップ・ダウンを行います。1秒以上押し続けると連続して変化します。

⑤表示（ブラインド）ボタン

ボタンを選択して、非表示にし、⑨の書込みボタンを押すと、温調計の該当するパラメータが

ブラインドされ、表示されなくなります。

※注意 選択中（黄）のパラメータのみ有効となります。

⑥ヘルプボタン

ヘルプ画面が開きます。

⑦S E t 全選択、全非選択

S E t 内の選択ボタンを一括して全選択、全非選択にします。

⑧S E t 全表示、全非表示

S E t \_\_\_\_内の表示（ブラインド）ボタンを一括して表示、非表示にします。

⑨書込みボタン

選択中（黄）のパラメータを、温調計に書込みます。

⑩読み込みボタン

選択中（黄）のパラメータを、温調計から読み込みます。

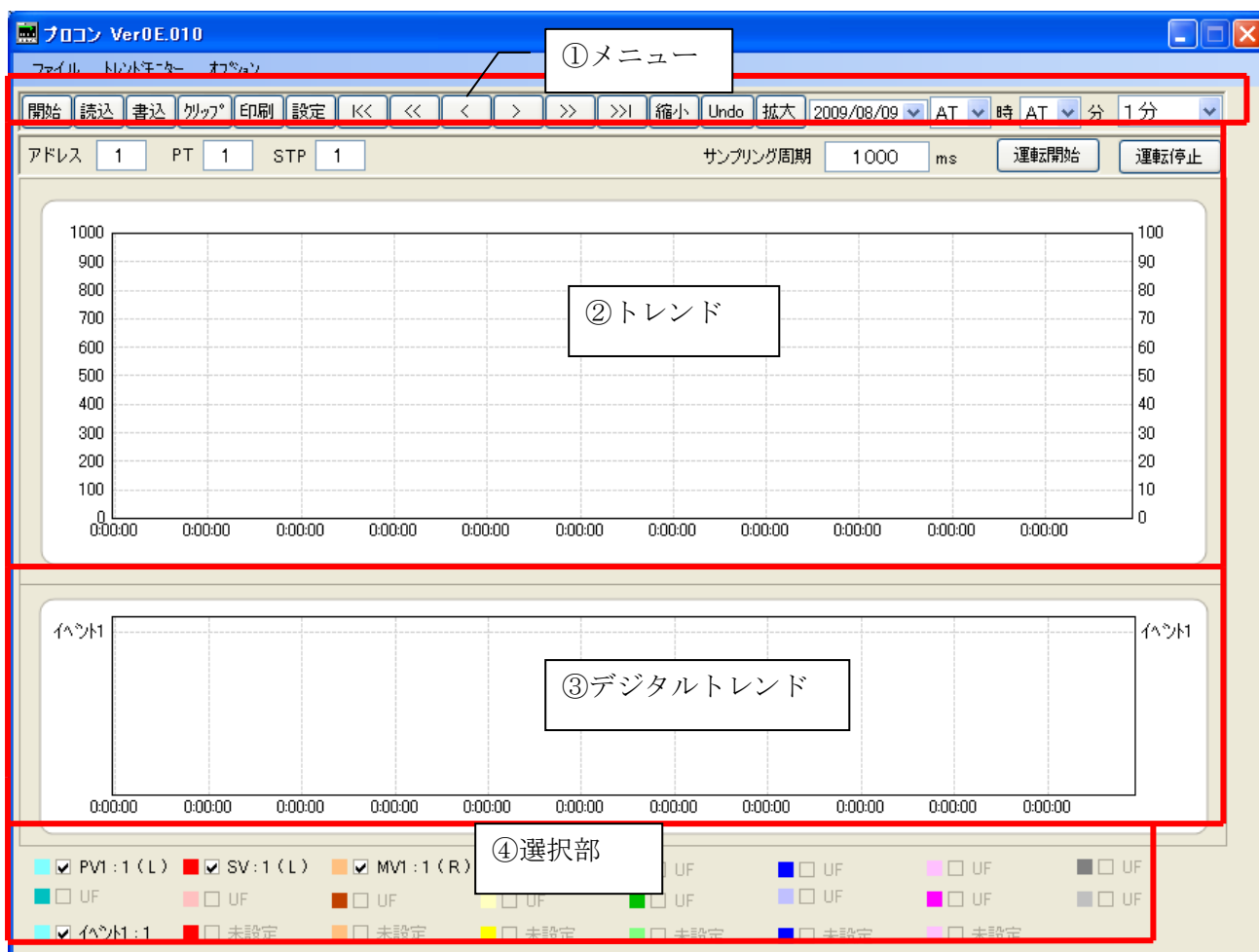
⑪ファイル保存

パラメータ設定をファイルに保存します。

⑫ファイル読み込み

パラメータ設定をファイルから読み込みます。

## 4. トレンド



### ①メニュー

ボタン名称	説明
開始	トレンドを開始します。トレンド中は停止ボタンになります。
読込	ファイルに保存しているトレンドデータを読み込みます。 トレンド中は、読み込み出来ません。
書込	ファイルにトレンドデータを書き込みます
クリップ	クリップボードに現在の画面を出力します。
印刷	現在の画面を「通常使うプリンタ」に印刷します。 ※注意 「通常使うプリンタ」の変更は、ローダソフトを終了させて、行ってください。
設定	設定画面を表示します。
<<	グラフを開始時刻に戻します。 トレンド中の場合は、Undo で、トレンドの表示を継続します。



<<	グラフを1 / 2画面分戻します。 トレンド中の場合は、Undo で、トレンドの表示を継続します。
<	グラフを1 / 4画面分戻します。 トレンド中の場合は、Undo で、トレンドの表示を継続します。
>	グラフを1 / 4画面分進めます。 トレンド中の場合は、Undo で、トレンドの表示を継続します。

ボタン名称	説明
>>	グラフを1 / 2画面分進めます。 トレンド中の場合は、Undo で、トレンドの表示を継続します。
>>	グラフを最新時間まで進めます。 トレンド中の場合は、Undo で、トレンドの表示を継続します。
縮小	グラフを0. 8倍します。
Undo	グラフを元の大きさに戻します。 トレンド中の場合は、トレンドの表示を継続します。
拡大	グラフを1. 25倍します。
2009/**/**	トレンドの開始年月日を指定します。イニシャルは現在年月日です。
** (時)	トレンドの開始時を指定します。イニシャルは現在時です。
** (分)	トレンドの開始分を指定します。イニシャルは現在分です。
1分	1画面の時間を設定します。

## ②トレンド

トレンド結果が表示されます。

トレンド画面上部にあるメニューは以下の通りです。

- アドレス : 通信を行っている温調器のアドレス番号です。
- P T : 現在運転中のパターン番号です。停止中は1を表示しています。
- S T P : 現在運転中のステップ番号です。停止中は1を表示しています。
- サンプリング周期 : 連続運転のサンプリング時間（データ送受周期）です。
- 運転開始 : このボタンを押すと運転開始の信号を製品に送信します。
- 運転停止 : このボタンを押すと運転停止の信号を製品に送信します。

## ③デジタルトレンド

出力やD Iなどのデジタルトレンドが表示されます。

## ④選択部

設定したパラメータをトレンドに表示するか選択します。  
選択中はデータを読みみますが、選択されていないとデータを読みみません。  
選択を多くすると、画面の更新が出来ない場合が有ります。その場合は選択を減らすか、設定画面のグラフ内にある、周期を長く設定して下さい。

トレンドを終了させる場合は右上の×を押すか、ファイルメニューの終了を選択して下さい。

※注意　トレンドデータは6万回分のデータが取れます。  
それ以上データを取ると、古いデータを上書きしながら動作を続けます。  
トレンド動作中はトレンド機能を終了出来ません。停止してから終了させて下さい。



## ●設定詳細 トレンドモニタ

アドレス	識別子	軸	アドレス	識別子	軸
1	PV1: 測定値温度	Left	9	UF	Left
2	SV: 現在設定値	Left	10	UF	Left
3	MV1: 主制御操作量	Right	11	UF	Left
4	UF	Left	12	UF	Left
5	UF	Left	13	UF	Left
6	UF	Left	14	UF	Left
7	UF	Left	15	UF	Left
8	UF	Left	16	UF	Left

### 設定画面の共通操作

#### ・OKボタン

OKボタンを押すと変更した設定が有効になり、トレンド画面に戻ります。

#### ・キャンセルボタン

キャンセルボタンを押すと変更した設定が無効になり、トレンド画面に戻ります。

#### ・初期値ボタン

初期値ボタンを押すと設定画面内の各設定が初期値に戻ります。

### トレンドモニタ設定画面の操作

#### ・アドレス

温調計に設定しているアドレスを設定します。ローダケーブルを使用している場合は、1を設定して下さい。

RS485で温調計を複数台接続した場合にアドレスが活用出来ます。

#### ・識別子

トレンドを行うパラメータの識別子を設定して下さい。

- ・ 軸

縦軸の目盛りをトレンド画面の左軸または、右軸のどちらを使用するか設定します。

## ●設定詳細 デジタルトレンド

	アドレス	識別子	名称
1	1	リレー出力1	リレー1
2	1	未設定	未設定
3	1	未設定	未設定
4	1	未設定	未設定
5	1	未設定	未設定
6	1	未設定	未設定
7	1	未設定	未設定

### デジタルトレンド設定画面の操作

#### ・アドレス

温調計に設定しているアドレスを設定します。ローダケーブルを使用している場合は、1を設定して下さい。

RS 4 8 5 で温調計を複数台接続した場合にアドレスが活用出来ます。

#### ・識別子

デジタルトレンドを行うパラメータの識別子を設定して下さい。

#### ・名称

デジタルトレンドの表示用の名称を設定します。

## ●設定詳細 グラフ

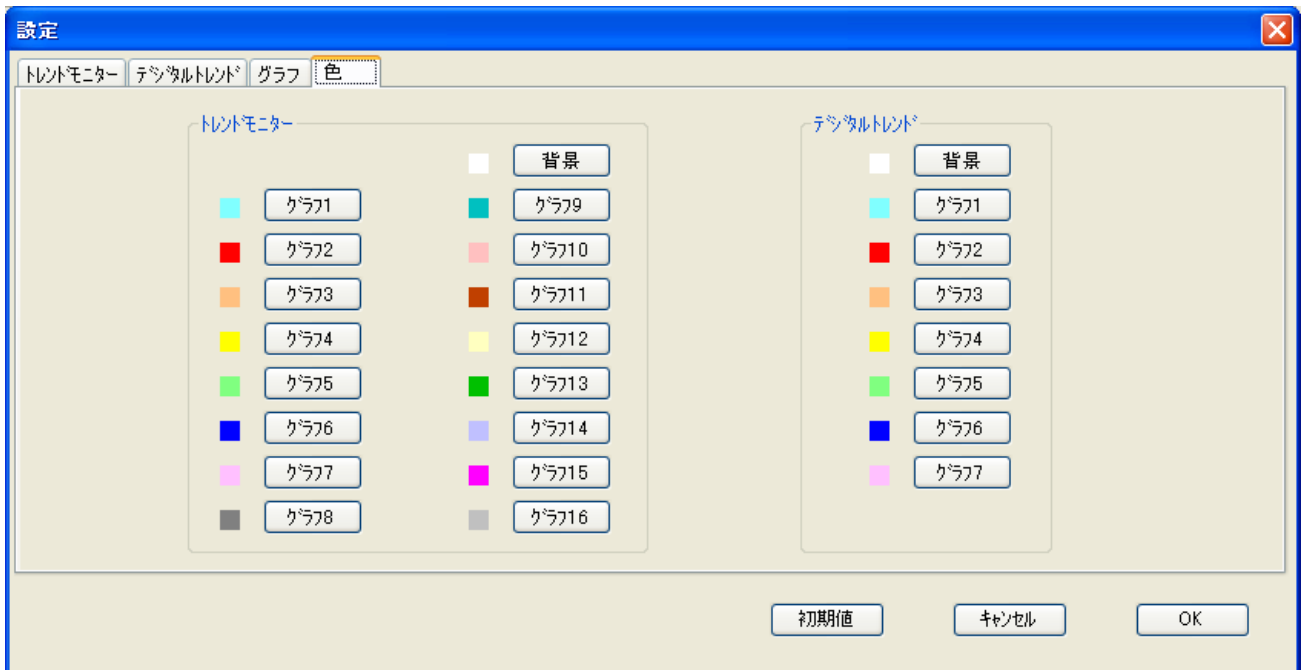
名称	設定値	設定範囲
周期	1	1~3600秒
左軸表示下限	0	-19999~左軸表示上限
左軸表示上限	1000	左軸表示下限~29999
右軸表示下限	0	-19999~右軸表示上限
右軸表示上限	100	右軸表示下限~29999
左軸コマンド		単位など16文字まで表示
右軸コマンド		単位など16文字まで表示
モニター用アドレス	1	

初期値      キャンセル      OK

### グラフ設定画面の操作

トレンドモニタの読込周期（画面の更新周期）と、トレンド画面の縦軸範囲、またトレンド画面のPTとSTPのアドレスを設定します。

## ●設定詳細 色



### 色設定画面の操作

トレンド、デジタルトレンドのグラフ色を設定します。  
下記画面で色を選択します。

